



お札のまつり方について

●お札をまつる場所について

神棚または、明るく清らかで毎日お参りしやすい場所をお選びください。
目線より高い位置でおまつりします。

●お札の向きについて

お札の正面が、東向きか南向き（陽が昇る方角）が良いとされております。

●お札・お守りの取りかえ方について

年の暮れ、椿まつり前に神棚または、お札のまわりを清掃し、新たに神様の力を戴く意味からお札・お守り・破魔矢は、毎年新しく受けることが良いでしょう。

●古いお札・お守り・破魔矢の焼納について

一年間お守り戴いたことに感謝を申し上げた後、当神社へお納めください。
当神社では、ご守護を戴いた事に感謝の真心を捧げる神事を椿まつり後に行い、祓い清め、忌火により焼納いたします。

●当神社にお納め出来るお札、お守り他について

お札・お守り・ハマヤ・しめ縄・神棚・えんぎ物（熊手・宝船…等）・人形・正月飾り・結納品
椿神社、又は他の神社で受けた物

◎当神社にお納め出来ない品々について

寺院様のお札、お守り・仏具全般・遺影・遺品・年賀状・のし袋・御写真・人形のガラスケース

※処理にお困りの物について

ご自身で感謝の気持ちを捧げつつ、御塩をかけてお清めした後、処理をされてください。

※自然環境を守るためにも以下の事にご協力をお願い致します。

1. 鏡餅・正月飾りのミカンは、歳神様をお迎えした大切な御品ですので、ご家族でお召し上がりください。
2. 紙袋・ビニール袋・段ボール等は、お持ち帰りください。
3. 神社からの紙袋はお納めください。

●富久椿(ふくつばき)について

社殿内廻廊の「古い富久椿納所」にお納めください。